令和７年度決算を掘り下げる

その他の質問はこちら
（付属資料をご覧ください）

令和８年第３回定例会では、一般会計、３つの特別会計および４つの事業会計について、令和７年度予算が目的どおり適正に執行され、成果をあげているかなどを３日間にわたり決算審査特別委員会を開催して審査し、全て認定され、最終的に９月25日の本会議で可決されました。

審査の中では様々な質問があったため、一部を紹介します。

一般会計歳出質問

【２款　総務費】

Q　電子通貨事業のチャージ等負担金の内訳、採算性の見込み、今後の課題、市の負担、中小の小売店への対応は。

A　本市の、チャージ等負担金は、店舗での売上金に相当するもので、決算額２億7,507万1,015円で、チャージ分の１億9,359万8,000円が歳入として収入済みである。採算性の見込みについては、利用者および加盟店の拡大が必要だが、財政負担に対し地域の活性化により市民の幸福度が上回るよう努めていく。今後は、幅広い活用の可能性を検討し、地域に定着する仕組みづくりを進めていく。

安中市電子地域通貨
UMECA
電子通貨事業

Q　マイナンバーカードの安中市の所持率は83.4％と高いが、土日が休みの方のために土日にカード作成ができないのか。

A　以前は、毎月第一日曜日の正午まで開設していた日曜窓口で手続きができたが、新庁舎移転後は開設していない。現在は、毎週水曜日の午後７時まで開設しているマイナンバーカード専門の窓口で更新や交付ができる。

Q　令和７年度のふるさと創生寄付金の実績と収支は。

A　個人からの寄付件数は31,161件、寄付金額は約５億5,300万円。実質的な収支については、経費および市民が他自治体へ寄付したことによる市民税控除額を差し引き、更に交付税の増額分を加える算出方法だと、約２億5,900万の黒字となっている。

Q　空き家対策推進事業の空家除却費補助金制度の概要は。

A　空き家所有者が、自発的に空き家の除却を行なう場合に要する費用の一部を補助する。除却に要する費用の２分の１、上限は30万円である。令和７年度の交付件数48件、交付金額の合計が1,440万円である。

【４款　衛生費】

Q　マテリアルリサイクル推進事業の概要、国庫資金の返還理由、これに代わる事業の進捗状況は。

A　この事業は、行政回収によるリサイクル率の向上と再資源化を図る中間処理施設事業